

## 事業計画書

事業名	アート×ジオツアー 2019
実施場所	江ノ浦地区～多比地区～口野地区
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年 4月 1日 ～ 2019年 10月 31日

### ◎事業概要

※事業の概要を 100～200 字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

沼津市江浦湾を取り巻く江ノ浦地区、多比地区そして狩野川放水路を経て口野地区を巡り、漁業の副業として営まれた採石場跡や、旧道の存在、沿岸部の活用など、その変化の痕跡を探る。ツアー参加者が心に残った風景を画像にし、ひと言メッセージ（タイトル）を添えて公共の場で公開する。創作（アート）の起点となる場の掘り起こしを、沼津の隠れた魅力の再発見につなげる。

### ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

沼津のジオスポットのひとつである静浦山地形成の一端を知ること、そこに暮らす人の生活史を知ること。適切なツアーガイドとともに歩くこと。写真や画像を使って、ひと言メッセージを添えて、その痕跡を個人の感想や感情の断片へとつなげていく。

### ◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>○毎月 1 回のペースで実施している EN の定例会で打ち合わせを行う。</p> <p>○適宜鈴木館長や笠間学芸員とも打ち合わせをする。電話やメールでの連絡や所属館への資料持参での訪問。</p> <p>○アートにつなげる体験型のツアーなので、専門的な分野をスポットごとにわかりやすくガイドしてもらうようにする。</p> <p>○参加は表現に興味のある人を対象にしたいので、SNS での広報を中心とし、さらに大学、公共の施設や地域のコミュニティにチラシを配置。ツアー参加者はガイドも含めて 30 人を上限とし、小学生以上でも家族同伴であれば参加可能としたい。EN スタッフをツアー列先頭、中、後尾に配置し、事故のないよう安全面で注意する。また地域住民の生活に配慮し、プライベートに気をつけた行動を促す。特に採石場跡地は安全を配慮する。</p> <p>○実施日は秋頃を予定している。</p>

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

沼津の魅力をアートの視点（赤瀬川源平氏のトマソン芸術的）で発信することで、これまで気が付かなかった沼津の魅力を再発見できる様なツアーとする。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。
	参加人数：30人 Facebook等による拡散：1000人		参加人数をカウント Facebook等によるイイねの数

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>アートの視点で近くに住んでいても気がつかない魅力を再発見し、発信することで、改めて沼津が魅力的な地域であることを、感度の高い人たちの共感を得ることが出来る。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津のジオスポットである静浦山地形成の一端を専門家による話を聞きながら巡ることで、地質的魅力や歴史的な魅力、アートのこれまで気がつかなかった魅力など、沼津の魅力再発見につなげる。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>ジオだけでなく、アートというこれまでとはひと味違う視点を組み合わせ、専門家による話を聞きながら巡ることで、より魅力的で、より深い理解につなげることができる。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>これまで我入道地区の魅力再発見としてツアーを開催して展示を行ってきた。今後も沼津市内の様々な場所で開催し、拡げていく予定。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加費@1000円</li> <li>・月1回の定例会で状況を確認しながら進める。</li> <li>・歴史民俗資料館の鈴木館長や笠間学芸員とも打ち合わせ、綿密な連絡をとりツアーに備える。</li> </ul>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>これまでに様々な場所への現地視察を鈴木館長と共に行い、ツアーに相応しい場所探しの準備している。</p>

### ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

昨年我入道、牛臥山付近で実施。今後の候補地として、囚人堀を含めた千本浜や、沼津アルプストーンネルなど引き続きエリアを選定して展開をしていきたい。

### ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

これまでアート×ジオツアーとして制作した作品を、ENギャラリーにて展示するなど、単なるジオツアーとは違う取り組みを行ってきた。今後も美術とジオを組み合わせた独自の視点での魅力を発せインしていきたい。

### ◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。

